

## 第26回（通算144回） 全経簿記検定試験 上級出題予想

### 商業簿記・会計学

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記		決算三勘定	残高勘定 連結会計	貸借対照表
会 計 学	第1問	(1) 正誤問題	(1) 正誤問題	(1) 正誤問題
	第2問	(2) 企業結合	(2) 企業会計原則	(2) 配当可能限度額 の計算
	第3問	(3) 退職給付会計	(3) 外貨換算会計	(3) 固定資産

#### なぜこう予想したのか

##### [ 第1予想 ]

商業簿記では134回から決算三勘定が続けて出題されています。今回も出題される可能性は高いと思われます。特に出題頻度の高いリース会計、有価証券、外貨換算については、必ず確認しておきましょう。会計学の第1問の正誤問題では、過去の本試験の類似問題が出題されることが多いので、過去問題集で確認しておきましょう。

第2問では企業結合、第3問では退職給付会計をあげました。企業結合については126回以降会計学で出題されておらず、近年その重要性は増えています。持分法や合併会計については注意しておきましょう。また、退職給付会計は前回理論として出題されましたが、計算では出題されておらず、その出題可能性は高いと思われます。

##### [ 第2予想 ]

商業簿記では残高勘定に加えて連結会計をあげました。資産の評価替え、債権債務の相殺、未実現利益の消去といった基本的な論点は押さえておきましょう。会計学は理論としてある程度回数をおいて出題される企業会計原則を、計算として外貨換算会計をあげました。外貨換算会計では為替予約や資産、負債の換算を押さえておきましょう。

##### [ 第3予想 ]

商業簿記では財務諸表作成、特に貸借対照表をあげました。貸借対照表は資本の部の改正後、総合問題としては出題されていないことなどから、その出題可能性は高いと思われます。会計学では配当可能限度額と固定資産をあげました。固定資産は理論、計算どちらにおいても問われやすい論点ですので要注意です。また、未出題のソフトウェアについても確認しておきましょう。

このネットスクール予想は、個人でのご利用に限り提供をしています。

団体等でのご利用、無断転用は固くお断りいたします。

Copyright (C) 2003 Net School Corp. All Rights Reserved.

# 第 26 回(第 144 回) 全経簿記検定試験

# 上級出題予想

## 工業簿記・原価計算

科 目	第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
工業簿記	工程別組別総合原価計算	単純総合原価計算	直接原価計算
原価計算	標準原価計算	C V P 分析	事業部制 + 意思決定会計

### なぜこう予想したのか

#### 〔第 1 予想〕

工業簿記は工程別組別総合原価計算、原価計算は標準原価計算としました。

工程別組別総合原価計算は、最近出題がなく前回・前々回の傾向を踏まえ、部門別計算とも関連させやすいため第 1 予想としました。また、標準原価計算は工業簿記でも原価計算でも出題可能性はありますが、論点の重要性とここ数回は管理会計の分野でも意思決定会計からの出題が多いという点を考慮し、第 1 予想としました。

#### 〔第 2 予想〕

工業簿記は単純個別原価計算、原価計算は C V P 分析としました。

単純総合原価計算は、最近 7 回出題がない点、材料費、労務費、経費といった費目別計算に重きをおいた出題がないという点を考慮し、第 2 予想としました。また、C V P 分析は、出題頻度が高いという点、ここ数回は単独での出題がないという点を考慮し、第 2 予想としました。

#### 〔第 3 予想〕

工業簿記は直接原価計算、原価計算は事業部制と意思決定会計の複合問題としました。

直接原価計算は、近年まったく出題実績はないが論点の重要性に鑑み、突然復活してもおかしくない論点であるため、注意が必要と判断し、第 3 予想としました。

また、事業部制と意思決定会計は、責任会計の視点からも意思決定会計の重要性が問われる可能性を考慮し、複合問題であればという意味で第 3 予想としました。

このネットスクール予想は、個人でのご利用に限り提供をしています。

団体等でのご利用、無断転用は固くお断りいたします。

Copyright (C) 2003 Net School Corp. All Rights Reserved.